



またかた

よろこび多いまちづくり

社協だより

vol.32

平成26年
8月1日号



「日本酒の効能について～健康に繋がる飲酒の仕方～」
唐橋 幸市郎氏

平成26年度 ふれあい 社会福祉講座開催



「地域の見守り・支え合いづくり
～東日本大震災から学んだこと～」
関 靖男氏



「相続と遺言について」 大森 佳彦氏

健康、安全安心なまちづくり、地域福祉をテーマに3回にわたって開催した本年度の「ふれあい社会福祉講座」は延280名の市民の皆様が受講されました。

本協議会では、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の構築を目指し、様々な事業に取り組んでおります。

● おもな内容 ●

- 会長就任挨拶、役員・評議員改選 …… 2
- 平成25年度決算報告 …… 3
- 平成25年度の主な事業報告 …… 4
- ふれあいだより …… 5
- よらんしょネット …… 6
- 寄付報告、高齢者総合相談センター巡回相談会開催、「児童館まつり」のご案内 … 7
- 傾聴ボランティア養成講座のご案内
家族介護者リフレッシュ事業のご案内 … 8

会長就任挨拶



社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会長

武藤 顕夫

皆様方には日頃から喜多方市社会福祉協議会の活動に、ご理解とご協力をいただいていることに、厚く御礼を申し上げます。

さて、私こと、去る7月1日の本協議会の理事会におきまして、再度会長に選任を頂きました。

平成18年1月4日の5市町村社協合併後の同年7月に会長就任以来、「組織の充実」、「経営の充実」、「職員の一体感の醸成」を目標として、合併に伴う諸課題の解決と共に、地域に根ざした福祉事業の展開を図ってまいりました。

今後につきましても、これまで行ってきた地域福祉事業、介護事業等に一層取り組むとともに、急速に進行する少子高齢化の対応、東日本大震災、原発事故を教訓とした対応マニュアルづくり、一人暮らしの高齢

者の方々に対する除雪ボランティア活動、介護施設利用者等への傾聴ボランティア活動などの諸活動を行うてまいります。

また、生活困窮者自立支援法や医療・介護総合推進法の成立に伴う介護保険法改正への対応、更には地域における介護施設の急増等に伴う利用者への減少、介護・看護職員等の慢性的不足等が顕在化しておりますので、その対応に努めてまいります。

加えて、介護施設や市の指定管理を受けている温泉施設等の管理については、笑顔と誠意をもって利用者の皆様と接するよう引き続き職員の指導にあたります。

更に地域の福祉団体等と緊密な連携のもと、市当局と三位一体となつて福祉活動の積極的な展開を図ってまいります。

重ねてのお願いとなりますが、社会福祉協議会会費につきましましては、共同募金配分金、寄附金、補助金等と併せてこれらの活動の貴重な財源となつておりますので、よろしくご理解とご協力をお願い致します。

どうかこれまで以上に本会の諸活動に対し、市民皆様のあたたかいご支援をお願い申し上げます。就任のあいさつと致します。

社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会 役員・評議員改選

このたび、本協議会の役員・評議員は全市並びに各地区ごとに設置した選考委員会の推薦に基づき、理事会並びに評議員会の議決を経て選任されました。

役員・評議員は市民の皆様の代表として、社会福祉協議会の効率的な運営と組織的活動を促進し、地域における民間社会福祉の増進を図ることを目的とした社会福祉協議会の運営にあたります。

◎役員		◎評議員	
会長	副会長	理事	常務理事
武藤 顕夫	荒下 明毅	岩本 義昭	小林 幸助
		五十嵐 昭	岩本 義昭
		大関 倫朗	大関 倫朗
		風間 常義	風間 常義
		齋藤 勘一郎	齋藤 勘一郎
		佐原 和佳子	佐原 和佳子
		遠山 権司	遠山 権司
		林 健一郎	林 健一郎
		古木 俊一	古木 俊一
		眞部 久男	眞部 久男
		山崎 信子	山崎 信子
		廣瀬 雅彦	廣瀬 雅彦
		矢部 政人	矢部 政人
		任期 平成26年7月1日から 平成28年6月30日まで	
		評議員	
		穴沢 一道	穴沢 一道
		安部 信夫	安部 信夫
		荒川 節子	荒川 節子
		岩淵 智子	岩淵 智子
		鶴名山 不二男	鶴名山 不二男
		瓜生 善八	瓜生 善八
		瓜生 敏男	瓜生 敏男
		遠藤 ケイ子	遠藤 ケイ子
		遠藤 富保	遠藤 富保
		大竹 武臣	大竹 武臣
		國分 真知子	國分 真知子
		齋藤 早苗	齋藤 早苗
		佐藤 寅記	佐藤 寅記
		佐藤 仁	佐藤 仁
		佐藤 晴	佐藤 晴
		須藤 茂樹	須藤 茂樹
		関本 知子	関本 知子
		高笠 喜市	高笠 喜市
		田代 喜代志	田代 喜代志
		田中 幸衛	田中 幸衛
		夏井 隆一	夏井 隆一
		花井 潤子	花井 潤子
		花見 紀子	花見 紀子
		原 美枝子	原 美枝子
		原 美穂	原 美穂
		星 朋子	星 朋子
		武藤 啓一	武藤 啓一
		武藤 啓子	武藤 啓子
		安田 啓実	安田 啓実
		湯田 功	湯田 功
		渡部 恵子	渡部 恵子
		任期 平成26年6月16日から 平成28年6月15日まで	

(五十音順)

平成25年度決算報告

貸借対照表

平成26年3月31日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
流動資産	190,220,881	流動負債	70,177,211
現金預金	95,428,906	未払金	68,936,669
未収金	90,245,389	預り金	1,240,542
立替金	307,731	固定負債	375,358,635
前払金	315,000	退職給与引当金	375,358,635
短期貸付金	3,823,855	負債の部合計	445,535,846
仮払金	100,000	純資産の部	
固定資産	646,375,837	基本金	5,000,000
基本財産	5,000,000	基本金	5,000,000
基本財産特定預金	5,000,000	基金	36,119,200
その他の固定資産	641,375,837	社会福祉基金	20,009,200
建物	8,390,943	生活援助基金	2,110,000
構築物	1,078,988	高額療養費・援助資金貸付基金	14,000,000
車両運搬具	7,055,889	国庫補助金等特別積立金	7,344,439
器具及び備品	2,575,902	国庫補助金等特別積立金	7,344,439
退職共済預け金	332,133,045	積立金	253,933,360
特定預金	290,052,560	積立金	253,933,360
リサイクル預託金	88,510	次期繰越活動収支差額	88,663,873
資産の部合計	836,596,718	(うち当期活動収支差額)	10,122,759
		純資産の部合計	391,060,872
		負債及び純資産の部合計	836,596,718

市民の皆様よりご協力いただいている会費・寄付金等は、地域の福祉向上を目的として、地域福祉事業を中心に有効に活用させていただいております。

引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い致します。



平成25年度事業活動収支計算書

(単位：円)

	収入額	支出額	差異
事業活動収支の部	745,772,782	737,126,579	8,646,203
事業外活動収支の部	1,476,563	0	1,476,563
特別収支の部	0	7	-7
合計	747,249,345	737,126,586	10,122,759

(当期活動収支差額)

<収支内訳>

(単位：円)

(単位：円)

収 入		支 出	
会費収入	9,209,550	法人運営事業	130,860,173
寄付金収入	10,152,848	地域福祉事業等 ・ボランティア教育 ・サロン事業の推進	11,886,854
補助金収入	65,844,000	・福祉団体育成支援 ・社会福祉大会開催 ほか	
受託金収入	221,004,034	指定管理施設運営事業 ・総合福祉センター ・いきいきセンター ・しゃくなげホーム	99,584,740
負担金収入	566,700	・夢の森 ・高齢者生産活動センター ・かたくり荘	
自立支援費収入	10,326,578	児童館運営受託事業	87,959,955
共同募金・歳末たすけあい収入	9,336,499	歳末たすけあい配分事業	3,879,903
介護保険収入	345,674,566	介護事業 ・ケアプランセンター4事業所 ・デイサービスセンター1事業所 ・地域包括支援センター	402,954,961
利用料収入	19,383,835	・ヘルパーセンター3事業所 ・訪問入浴 1事業所	
その他の収入	55,750,735		
合計	747,249,345	合計	737,126,586

平成25年度の主な事業報告

◎ふれあいいきいきサロンの推進

地域における高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で活力ある生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいきいきサロン」の開設と運営を支援しました。

平成25年度活動サロン数
23ヵ所（うち新設1ヶ所）



◎ボランティア事業の推進

○ボランティア活動普及事業協力校の指定

市教育委員会・市内各小中学校の協力を得て、心豊かな児童生徒を育成するため、ボランティア協力校を指定し福祉教育の推進を支援しました。

○福祉教育への協力

・家庭看護、福祉実習への職員派遣 8回

・介護職員初任者研修への職員派遣 14回

○サマーショートボランティアスクールの開催

○声の広報の編集・発行

○点訳ボランティアの育成

◎除雪ボランティア事業

中学生や高校生、民生児童委員、赤十字奉仕団、地域のボランティア等の皆さんの協力をいただき、一人暮らしや高齢者世帯の除雪を行いました。

喜多方地区 97名参加

熱塩加納地区 84名参加

山都地区 128名参加

高郷地区 56名参加

※塩川地区は降雪量が少なく中止しました。

◎傾聴ボランティア養成事業

傾聴に関する知識及び技能等を習得し、地域の中で積極的に傾聴活動を行うボランティアを養成することを目的とし養成講座を開催しました。

3講開催 延102名受講

◎災害ボランティアセンター事業

7月に発生した「熱塩温泉地区豪雨災害」の被災地区支援のため、現地ボランティアセンターを設置し、多くのボランティアの協力を得ながら支援活動を展開しました。

活動件数 17件
(土砂撤去、家具運搬、屋内清掃など)
ボランティア参加者 延262名



◎第9回 喜多方市社会福祉大会の開催



市民皆様の社会福祉に対する理解と関心を深め、地域福祉をより一層充実することを目的とし開催しました。

○表彰 大会会長表彰 1団体
社協会長感謝 3名
県共同募金会長感謝 19名、10団体、20校

○福祉作文優秀作品発表

小学生3名 中学生2名

○記念講演

「泣いて笑ってがんばって」

講師：エッセイスト 海老名香葉子氏

参加者：546名

◎共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長の皆様、民生児童委員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様のご理解とご協力をいただき、共同募金・歳末たすけあい運動を展開しました。

共同募金運動募金実績 8,626,582円

歳末たすけあい運動募金実績 5,055,771円



◎おもちゃ図書館の開設

全ての子どもたちが、おもちゃや本を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに保護者に交流の場を提供しました。

	(開設日数)	(延利用者数)
本所（喜多方）	69日	5,632名
熱塩加納支所	12日	122名
塩川支所	59日	1,567名
山都支所	17日	227名
高郷支所	24日	315名



お知らせ

介護職員初任者研修の開催準備を進めています！

喜多方市社会福祉協議会では、介護の資格を取得して、地域の介護施設職員やホームヘルパーとして働きたい方等を対象とし、「介護職員初任者研修」の年度内実施に向け準備を進めています。

詳細が決定しましたら、皆様にお知らせいたしますので、もうしばらくお待ちください。

【問い合わせ先】 喜多方市社会福祉協議会 福祉課 TEL.0241-23-3231



喜多方地区

～心にしわはなし～「第30回 センターまつり」

喜多方市高齢者生産活動センターでは「第30回センターまつり」を開催しました。(6月8日(日):岩月町火付沢 同センターに於いて)活動している8グループの会員の皆さんが丹精こめて作った作品の展示・販売や体験教室、バザーや軽食コーナーなど大勢の方で賑わいました。



高齢者料理教室開催

熱塩加納地区



7月2日、市の栄養士さんや食生活改善推進員のご協力をいただき、町内のひとり暮らしや高齢者夫婦の方々を対象に料理教室を開催しました。12名の皆さんが久しぶりの再会に会話をはずませながら、料理の話に耳を傾けていました。

夏場の暑さを乗り切るために『～身近な野菜を利用して～』と題して、なすやきゅうりの『なすサラダ』をはじめ、かぼちゃを煮込んだスープ『かぼちゃ旨煮』など夏野菜を使っの献立は、「美味かった」と評判でした。

また、お話しの中には『食中毒予防の基礎知識』『熱中症予防について』を栄養士さんからご講演もいただきました。



塩川地区

塩川町陶芸教室日帰り研修

塩川町陶芸教室では、日頃より「作る楽しさ・使う喜び」を求め世界に一つだけの作品づくりに励んでいます。このたび、会員研修として山形市の「平清水焼七右エ門窯」を訪問し、体験研修を実施してきました。

日頃の製作の疑問点を質問したり、釉薬の特徴など熱心に見入るなどされていました。

今回の研修がきっと作品作りに生かされることと思います。



七夕飾りに願いをこめて！

山都地区



山都デイサービスの利用者さまのために、年に4回耶麻農業高等学校の生徒さんから楽しいプレゼントが届いています。

7月は七夕飾りの製作キットを届けていただき、利用者の皆さまは生徒達の作った「見本」を見ながら、天まで願いごとが届くようにと真剣に楽しそうに仕上げられていました。

高郷地区

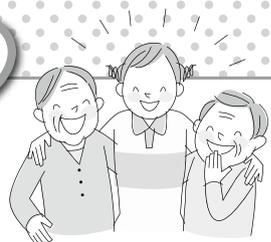
高郷デイサービスの運動会「玉入れ」

高郷デイサービスでは6月23日から一週間、皆さんと手作りの運動会を実施しました。「自然と元気が出てくるね。」と話される方も多く、玉入れでは、赤白に分かれて中央のカゴを目かけ、色とりどりの玉を投げ込みました。

大きさや重さが不揃いの玉々は、同じく投げても上手く入らず、そこにおもしろさがあるようでした。



“よらんしよネット”



喜多方市地域包括支援センターだより

元気を応援!!

あなたの街の
「喜多方市地域包括支援センター」

お気軽にご相談ください。

TEL.0241-21-8856

地域包括支援センターは、高齢者の方が住みなれた地域で安心して生活できるよう総合的に支えていくための拠点です。

行政機関、介護サービス事業所、医療機関、警察など適切な機関と連携して困りごとの解決に努め、地域の高齢者や家族を支えます。

包括支援センターの活動を紹介します

出前介護予防教室

H26.6.27 熱塩多目的集会センターにて、熱塩地区の皆さまを対象に、介護予防教室を行いました。体操やゲームなどで楽しく脳の活性を図りました。



包括研修

H26.7.15 市内のケアマネジャーや、施設の職員の方々を対象に、成年後見制度について社会福祉士の熊谷まゆみ氏より講義をいただきました。



街かど相談室

H26.6.8 高齢者生産活動センター祭りにて、街かど相談・血圧測定を行いました。様々な相談があり健康への関心の高さを実感しました。



上手な脱水予防・水分補給について

私たちの体の半分以上を水分が占めています。体温を調節したり、栄養素や酸素を運んだり、老廃物を排泄するなど、生命を維持する大事な役割があります。体内の水分は特に筋肉に蓄えられていますが、加齢と共に筋肉量が減少するので、年齢を重ねると体の水分貯蓄量は減ってきます。従って、若い頃には耐えられた喉の渇き等も高齢になると、即、脱水症などに繋がりがやすくなります。

のどが渇いたと感じる前に水分補給をしましょう。

何を飲むべきなの

基本は水を飲みましょう。冷えた水より、常温の方が体の負担になりません。また、お湯でも良いでしょう。



緑茶に含まれるカテキンは殺菌や美肌、体脂肪の吸収を防ぎ代謝を良くすると言われていいます。が、カフェインも含まれていますので、眠れなくなる方は夜の摂取は控えましょう。麦茶などはカフェインはありません。



スポーツドリンクなどイオン飲料は吸収も良く、塩分や糖分も含まれているのでエネルギー補給も出来ます。発熱時や運動後に適しています。寝る前の少量も良いですが、普段はあまり多く飲むべきものではありません。



その他、コーヒーや紅茶、アルコールは利尿効果があるので、水分補給の目的で飲むものではありません。一息入れたい時やストレス解消の目的としてほどほどにとどめておきましょう。



ご寄付ありがとうございます

お寄せいただいた寄付金は、地域福祉向上のため大切に役立たせていただきます。
(順不同・敬称略)

(平成26年4月1日～6月30日受付分)

一般寄付

喜多方地区

・高齢者生産活動センター
・会員一同

熱塩加納地区

・熱塩加納町民生委員OB会
・岩下和男

塩川地区

・わんぱくランド
・中道地 木村 八重野
(はんでん10枚)

山都地区

・公益財団法人修養団
・板橋サダ子(タオル)
・小澤 政志(衛生用品)
・島倉 民子(タオル)

高郷地区

・フオーク株式会社社会津工場
(衣類・帽子等)

ご遺志による寄付

喜多方地区

寺町一区 小林 義明
上三宮町岩沢 山岸 善市
熊倉町小沼 高久 祐一
慶徳町豊岡 佐藤 秀樹
松山町中村 小室 信夫
塗物町 山口 英雄
慶徳町新町 渡部 孝志
松山町松が丘 渡部 孝志

豊川町太郎丸 佐藤 一男
西四ツ谷 小野 誠
寺町一区 鈴木アサ子
豊川町一ノ堰二区 江川 秀一
豊川町高吉一区 渡部 久夫
熊倉町小沼 小関 孝幸
関柴町下柴 長澤 道子
関柴町京出 伊藤 健司
関柴町小松 原 学
緑町 大堀 恭太
寺町二区 田場川 仁
松山町坂井 高畑三三子
桜町 若菜 和子
豊川町太郎丸 長澤 茂夫
関柴町京出 坂内 政一
関芝町上高額 櫻田 一弘
関柴町関柴 中森 清
松山町東桜が丘 荒川 清
松山町南桜が丘 富田 一吉
神奈川県藤沢市 鈴木 政子
慶徳町松野 野村 親男
北海道北広島市 阿部 克士
熊倉町道地 小池 和幸
南町 猪俣 諭
松山町松が丘 安瀬 保成
松山町布流 遠藤 悦夫
松山町松が丘 小泉 弘
下町北部 荒井 一雄
関柴町下勝 物井 亮
豊川町長尾 生井 雄幸
慶徳町豊岡 佐藤 瞬一
上三宮町五分一 齋藤 忠信
熊倉町川前 末広町 齋藤 英紀

熱塩加納地区

岩月町上岩崎 小澤 光英
豊川町一ノ堰二区 三橋信一郎
豊川町高吉一区 渡部 龍弥

山都地区

日中 花見 大作
根岸 佐藤 欣浩
針生 石井 和宏
宇津野 大竹 清人
大森 菊地 孝喜
針生 渡部 和孝
鷺田 佐藤 文雄
半在家 山中 久雄
黒川 大竹 了一
半在家 原 光喜
岩尾 山口 敏行
針生 齋藤 正彦
山岩尾 齋藤 光弘
岩尾 瓜生 敬一

塩川地区

台 大場 芳市
谷地 新明 俊樹
源太 須藤 孝幸
源太 須藤 眞
会津美里町 山口 寿正
劉麻 遠藤 弘
柴城 鈴木 富雄
別府 大竹 哲
大沢 江花 一治
谷地 夏井佐喜夫
竹屋 安齋 健裕
貝沼 福地 了二
9区 北見 孝

山都地区

宮月 菊池 忠行
木曾 折笠 信雄
藤沢 板橋 敏光
寺内 渡部 忠良
寺内 小澤 絹恵
一ノ木 田中 俊重
上林 齋藤 秀一
木曾 永島 裕一
堰沢 平野 毅
賢谷 岩橋 和雄
上林 佐藤 清一
広野 和田 章
藤沢 高橋 茂

高郷地区

吹萩 佐久間 信行
塩坪 須藤 仁一
塩坪 齋藤 茂一
揚津 唐橋 勝男
夏井 佐藤 哲也



高齢者総合相談センター 巡回相談会開催

開催日/平成26年8月21日(木)
時間/一般相談(センター相談員)
午前10時30分～午後3時(予約不要)
法律相談(弁護士)
午後1時～午後3時(予約制・先着5人)
会場/喜多方市総合福祉センター・会議室
(喜多方市字上江3646-1 TEL.0241-23-3231)

【ご予約・お問い合わせ先】
受付時間/平日 午前9時～午後5時
福島県高齢者総合相談センター
TEL.024-524-2225
(社会福祉法人 福島県社会福祉協議会)
いきいき長寿課内

「児童館まつり」のご案内

日時 平成26年9月21日(日) 午前10時～午後3時
場所 喜多方プラザ文化センター
内容

- 遊びのコーナー(無料)
〈迷路、ジャンボジエンガ、
バルーンパラダイス、
ストラックアウト等〉
- 模擬店コーナー(有料)
〈焼きそば、ハンバーガー、
フランクフルト、かき氷等〉



各児童館保護者会による美味しい・楽しい模擬店!

他にも子どもたちによる「一輪車ショー」など、
内容盛りだくさんでお待ちしております。

【問い合わせ先】喜多方市中央児童館 TEL.0241-22-1766

『平成26年度傾聴ボランティア養成講座』受講者募集!

本講座は、傾聴に関する知識及び技能等を習得し、地域の中で積極的に傾聴活動を行うボランティアを養成することを目的とし開催します。

日程・内容

第1講 平成26年8月27日(水) 13:30~
「よい聴き手になるための傾聴の意味と意義の理解」
講師：会津大学短期大学部 講師 木村 淳也 氏

第2講 平成26年9月4日(木) 13:30~
「傾聴ボランティアの活動内容、専門的手法、傾聴のポイント」
講師：福島いのちの電話 研修委員 田中 照子 氏

※各講座2時間程度の予定です。

※2講全て受講された方には、傾聴ボランティア体験実習の場をご用意いたします。



問合せ・申込み 参加費無料

喜多方市社会福祉協議会窓口または電話 (TEL.23-3231) にてお申込ください。

会場

喜多方市総合福祉センター
2階 会議室

参加対象者

原則として2講全て受講できる方 ※資格・経験不要

平成26年度

家族介護者リフレッシュ事業のご案内



この事業は、ご家庭で要介護者を介護されている市民の皆様を対象に、日帰りまたは一泊で介護者同士の話し合いや研修の場を提供し、お互いに心身のリフレッシュをしていただくことを目的として実施いたします。

	①日帰りリフレッシュ	②一泊リフレッシュ
日時	平成26年10月15日(水) 9:00~17:00	平成26年10月23日(木)~24日(金) 10:00~翌日16:00
場所	新潟県寺泊方面	宮城県松島方面 松島センチュリーホテル(泊)
※現地でミニ研修や参加者相互の介護についての交流会を行います。		
内容	日本海を眺めながら心も体もリフレッシュ!!更に海の幸でお腹も満たして大満足!!昼食会場で研修・交流会も行います。	海岸沿いの温泉ホテルで研修・交流会を行います。ゆったりとした時間をお過ごし下さい。翌日は鮮魚ショッピングで更にリフレッシュ!!
負担金	1,000円	4,000円
募集人員	30名	50名
申込期間	平成26年8月1日(金)~ 平成26年9月30日(火)	平成26年8月1日(金)~ 平成26年10月8日(水)

※上記のコースのうち、1家族につき1回(1名)参加できます。申込期間前は受付できませんのでご了承願います。

※初めての方も、今まで参加したことのある方も、是非ご参加ください。

対象者 喜多方市民の方で、介護保険の要支援、要介護の認定を受けている方を在宅で常時介護している家族の方※申込者多数の場合は、締切日前でも受付を締め切ることがありますのでご了承下さい。

参加申込み ①参加される方のお名前 ②ご住所 ③電話番号 ④担当の介護支援専門員
⑤介護を必要とされている方のお名前 ⑥介護度 ⑦ご希望のコース
⑧集合場所までの送迎の有無

以上の内容を下記のいずれかに電話でお申込みください。

喜多方市社会福祉協議会 TEL.0241-23-3231

(熱塩加納支所0241-36-3112、塩川支所0241-27-3948、山都支所0241-38-3100、高郷支所0241-44-7111、地域包括支援センター0241-21-8856でも受付いたします。)

募集締め切り後、参加される方には詳しい内容をご通知いたします。

その他 当日は喜多方市社会福祉協議会職員が同行いたします。



※きたかた社協だよりの作成経費として、社協会員会費及び共同募金配分金を活用させていただいております。